

# 令和5年度 印西市民アカデミーだより 第23号

## 祝 印西市民アカデミー卒業式

3月23日(土)、印西市文化ホール多目的室において印西市民アカデミー第24期生の卒業式が挙行されました。コロナ禍真っただ中の活動を余儀なくされた第24期生は、これらの困難を乗り越えて素晴らしい卒業論集を作成しました。今後のアカデミー生の模範となる事でしょう。



一人ひとり卒業証書を授与されました。  
令和5年度



4年ぶりに復活した卒業生代表謝辞



にこやかな笑顔の卒業記念写真

当日は、2名の欠席があり7名での卒業式となってしまいましたが、凜とした雰囲気の中での卒業式は一人一人の思い出に残るものになりました。式典終了後、板倉正直学長(市長)からサプライズの歌「印西音頭」のプレゼントがありました。この歌は印西の素晴らしさを紹介した歌ですが、印西の素晴らしさをテーマにした卒論を作成した第24期生にはぴったりの歌で一句一句の歌詞に情景が浮かび深く感銘を受けました。



♪利根のなあ〜

入学したころは全くのあかの他人同士だった関係も2年間の活動の中で大親友の関係へと変貌していく様は本当に微笑ましいものです。毎年、卒論発表会や結縁寺御開帳の日を同窓会の日として集まってくるアカデミー卒業生の皆さんの笑顔は明るく輝いて見えます。この印西の地に住み着いて地元の親友ができたことの安心感はたえようもない宝物の一つです。

現在、卒業生たちはアカデミーでの経験を活かして、市民活動団体やボランティア活動団体等で活躍しています。また、町内会長や自治会長、市の各種委員を務めている方も多数います。このように行政ではできないこと・至らないところをカバーしながら「よりよい印西」をめざして活躍している姿こそアカデミー生の本分と考えています。今後益々のご活躍を期待しています。

